

このたびは、当製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。お取り付け後は、常に良好なご使用状態を維持していただくためにも正しいお取り扱いが必要です。万一、取り扱いを誤ると人身事故や故障の原因にもなりますので、ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解された上で、正しく使用して下さい。また、本書は万一の時の処理についても記載してありますので、いつでも再読できるように大切に保管しておいて下さい。

5. 故障かな?と思ったら

ご使用中に万一異常がありましたら、まず次のことをお確かめ下さい。

症状	ご確認ください	
開閉停止ボタンによる開閉操作時	「開」「閉」ボタンを押しても開閉しない。	停電していませんか? ブレーカーが切れていませんか? ブレーカーまでの電源が遮断されていませんか?
	5~10分ほど開閉を続けると突然シャッターが止まり、「開」「閉」ボタンを押しても開閉しない。	開閉機保護のため、止まっています。5分~10分たてば操作可能になりますそのままお待ちください。
	「開」ボタンにてシャッターは上がるが、「閉」ボタンを押してもシャッターが下りてこない。	座板スイッチの可動部が押されたままになっていませんか? 押されたままになっていると、信号を受信しないことがあります。
	シャッターを上まで上げたあと、すぐに自動でシャッターが下りてきてしまう。 シャッターを上まで上げたあと、しばらくしてから、自動でシャッターが下りてきてしまう。	防災信号を受電していませんか? シャッター開閉中に「非常」ボタンを押しましたか? シャッターを強制的に降るず運転モードに設定されますので、シャッターが全閉停止後に押しボタンスイッチ内の「復旧」ボタンを5秒以上長押しして防災運転モードを解除してください。
	座板スイッチに障害物が接触しても止まらない。	座板スイッチの両端部は信号を受信しにくい場合があります。
	座板スイッチに障害物が接触すると少し上がって止まる。	安全保護のため、少し上がって止まる機構になっています。異常ではありません。
防災信号又は非常ボタンによる閉鎖時	突然シャッターが下りてくる。	防災信号を受電していませんか?
	「非常」ボタンを押してもシャッターが下りてこない。	防災信号を受電していませんか? 座板スイッチが押されたままになっていませんか?
	座板スイッチに障害物が接触しても止まらない。 座板スイッチ床に接触してもシャッターが止まらない。	シャッター閉鎖中に「復旧」ボタンを押しましたか? シャッター閉鎖中に「復旧」ボタンを押すと障害物感知機能が一切無効となります。 シャッター全閉停止後「非常」ボタンを押し、再度「復旧」ボタンを押して復旧してください。 座板スイッチの両端部は信号を受信しにくい場合があります。
	降下中に「停」ボタンを押しても止まらない。 降下中に「復旧」ボタンを押しても止まらない。	防災信号及び「非常」ボタンによるシャッター閉鎖中は、座板スイッチに障害物が接触した場合以外は、シャッターが止まらない機構になっています。異常ではありません。
	座板スイッチが障害物に接触したあと、座板スイッチから障害物を除去してもシャッターが下りてこない。	座板スイッチから障害物を除去後、約10秒で降下を開始します。安全保護のため、止まっています。そのままお待ちください。
	「復旧」ボタンを押しても復旧できない。	「復旧」ボタンを5秒以上長押ししましたが、押す時間が短いと復旧しないことがあります。

上記以外の症状または、上記内容の確認で改善されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。

6. 修理依頼

品質には、万全を期しておりますが、万が一不都合があった場合は、ご使用になるのをおやめ下さい。そして、取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、なお異常があるときは、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。本取扱説明書は、紛失または汚損した場合は、再発行いたします。お気軽に販売店またはお近くの弊社営業所へご連絡下さい。

北陸東工シャッター株式会社

〒910-0846 福井県福井市四ツ井1-14-5
TEL (0776) 54-4455

- ・福井営業所 (0776)54-4455
- ・鯖江営業所 (0778)62-1123
- ・金沢営業所 (076)292-0180
- ・富山営業所 (076)421-0723

ご使用上の注意

警告 取り扱いを誤った場合に死亡または、重傷を負う可能性がありますので、十分注意して下さい。

全閉するまでの途中で手動閉鎖装置内の「復旧」ボタンを押した場合、シャッターは座板スイッチにて停止できなくなります。大変危険ですから全閉停止するまでは絶対に「復旧」ボタンは押さないで下さい。

蓄電池が切れた状態でシャッターを使用すると、シャッターは座板スイッチにて停止できなくなります。大変危険ですから定期点検を必ずおこなうようにして下さい。



開閉操作する前に、物が置いてないか、人の出入りがいないか、必ず確認して下さい。特にお子様の飛び出しなどに注意して下さい。



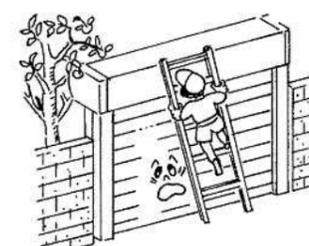
押しボタンスイッチまたは手動閉鎖装置の周りには、障害物を置かないで下さい。手動閉鎖装置は、いつでも操作できる状態にしておいて下さい。



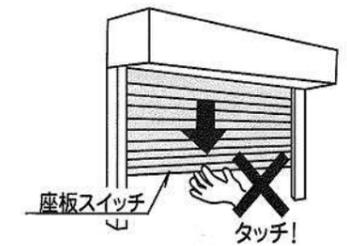
濡れた手で押しボタンスイッチを触らないで下さい。感電の恐れがあり、大変危険です。



シャッター本体にぶらさがらないで下さい。



シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないで下さい。作業中に他の人にシャッターを動かされると危険です。



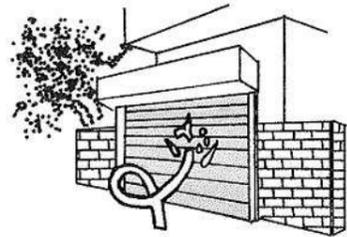
故意に座板に触れ、シャッター動作を停止させないで下さい。故障の原因になります。

ご使用上の注意

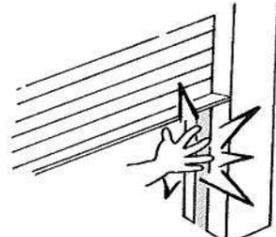


警告

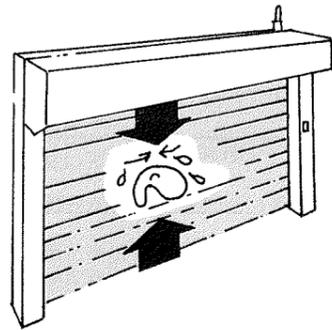
取り扱いを誤った場合に死亡または、重傷を負う可能性がありますので、十分注意して下さい。



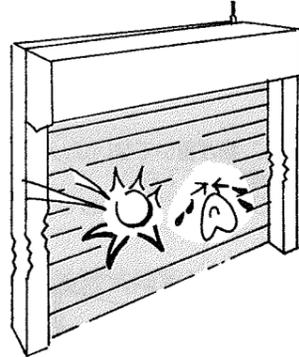
シャッターに直接水をかけないで下さい。シャッター内部の電装部品に水がかかると故障の原因になります。



ガイドレール溝に手を入れしないで下さい。指を負傷する恐れがあります。



頻繁な開閉の繰り返しは、故障の原因になります。モーターが加熱すると、安全の為動かなくなります。



シャッターに物をぶつけたりしないで下さい。



シャッターがガイドレールから外れた場合は、絶対にシャッターの周りに近寄らないで下さい。



押しボタンスイッチ内やシャッターケースなどを分解したり、不当な修理・改造はしないで下さい。

3. お手入れ方法



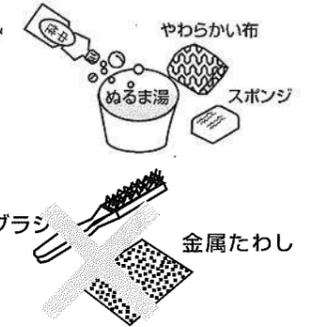
注意: 清掃する際、必ず次のことを守ってください。

1. 高所作業の場合は、足場の安全を確保してから行って下さい。
2. 直接ホースで水をかけないで下さい。

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1年に 1~2回
海岸・工業地帯	1年に 1回
市街地	1~2年に 1回
田園地帯	2年に 1回

清掃手順

1. 水で汚れを洗い落として下さい。
2. 水洗いで落ちない場合は、中性洗剤をぬるま湯で溶かし、スポンジまたは柔らかい布で洗って下さい。
3. 水で十分に洗剤を洗い流して下さい。
4. 乾いた布で水分を拭き取って下さい。



4. 点検

1. 日常点検



警告: 必ず以下の日常点検をおこなってください。日常点検をおこなわないと人身事故や重大事故につながる場合があります。日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止め、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。

1. 警告、注意ラベルの脱落、破れ、はがれなどの破損がないか確認してください。読めなかったり、破損していたら、新しいラベルと交換してください。
2. 以下の点について、シャッターの開閉状態をご確認ください。
 - ・今までと違った異音がないこと
 - ・今までと違った振動がないこと
 - ・外観に使用上有害な変形がないこと
 - ・上限・下限で正しく停止していること
 - ・停止してからシャッターが滑り降りないこと
3. シャッター降下ライン上に、障害物などがないかご確認ください。
4. 押しボタンスイッチまたは手動閉鎖装置の周りに、障害物がないかご確認ください。手動閉鎖装置は、いつでも操作できる状態にしておいて下さい。
5. 蓄電池の状態が正常であること

2. 定期点検



警告: 必ず定期点検をおこなってください。適切な定期点検をおこなわないと、人身事故や重大事故につながる場合があります。定期点検は専門メーカーにご依頼ください。専門メーカー以外の点検は、人身事故や重大事故につながる場合があります。

定期点検の目安としては下表の通りです

一日当たりの開閉頻度	定期点検回数(年)
1~2回	2
3回以上	打合せによる

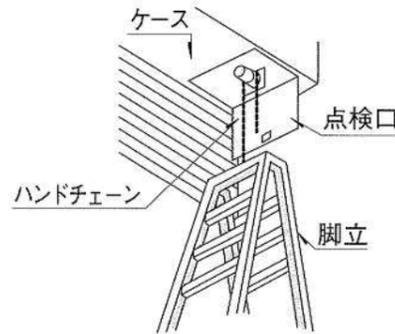
定期点検契約については、販売店または弊社営業所にご連絡下さい。

2-3. 操作方法 — 手動による開放の場合

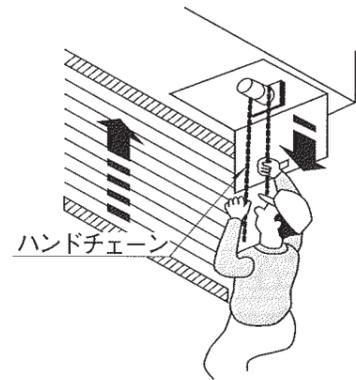


注意: 操作する際、必ず次のことを守って下さい。
 この作業は、危険が伴いますので、十分注意をしてください。
 シャッターの下に人がいないか必ず確認して下さい。
 周囲の状況に注意して、安全を直接目で見て確認して下さい。
 シャッターのまわりに物が立てかけられていたり、置いていないことを確認して下さい。
 お子様には操作させないで下さい。
 シャッターが停止するまで目を離さず、その場を離れないで下さい
 防災信号又は、非常ボタンによる降下後にこの操作をする場合は、必ず復旧をおこなってから動作させてください。

4. 手動による動作の場合



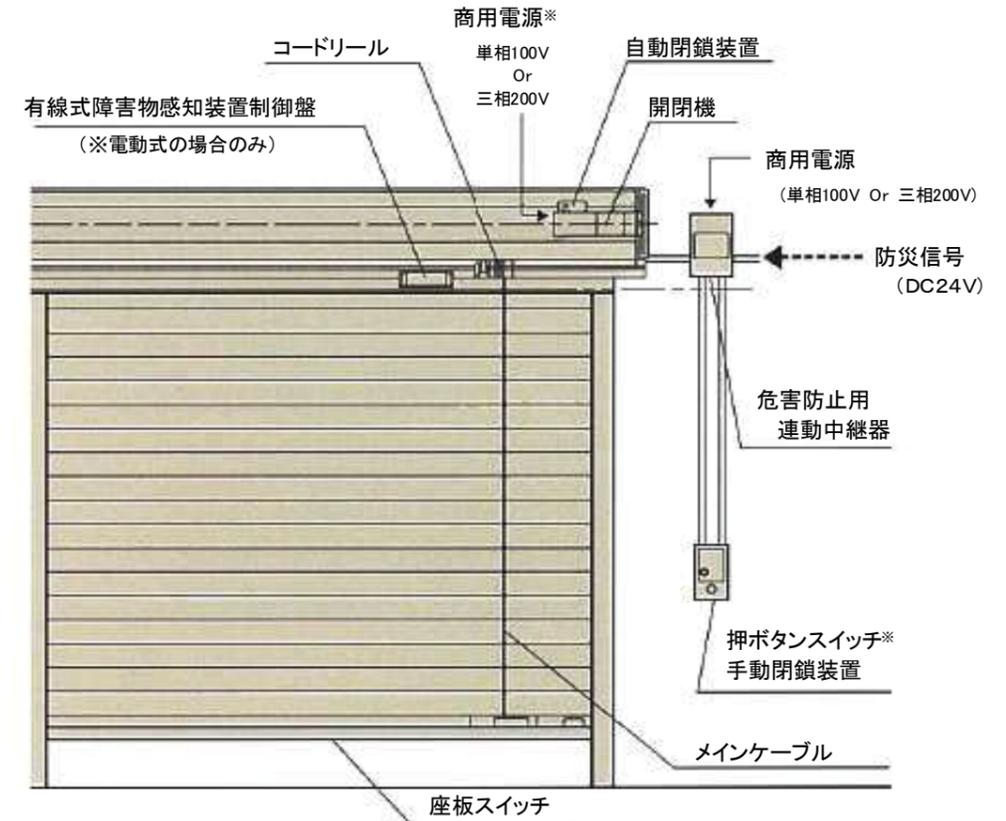
脚立等を用いてケース下面の点検口（ハッチ）を開け、ハンドチェーンを降ろします。



シャッターを開放する場合

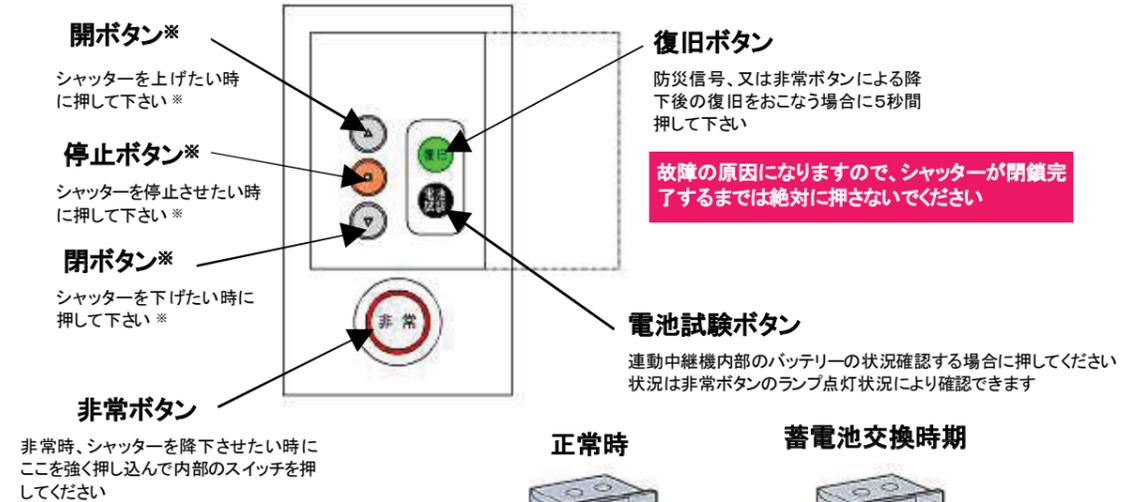
手前側のチェーンを連続して引くと開放します。下端の座板の位置を確認しながら、天井面のマグサまたはケースに納まった時点で操作を中止して下さい。（有効開口 高3m くらい巻上がるのに5～10分程度かかります）巻き込みすぎると破損の原因となりますのでご注意ください。
 動作完了後は、チェーンを戻し、点検口を必ず締めて下さい。

1. 各部の名称

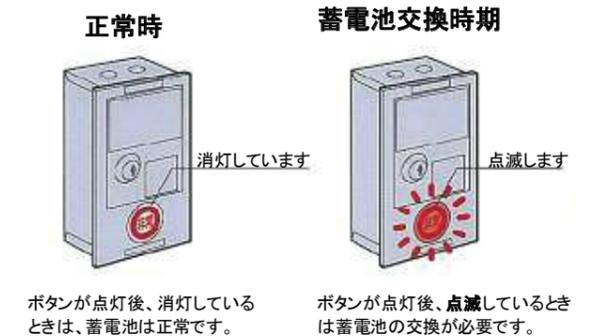


※電動シャッターのみ有効
 ※開、停、閉ボタンについて、防災信号、又は非常ボタンによる降下時は無効です

手動閉鎖装置/押ボタンスイッチ*



危険防止用連動中継器の非常用電源に使用する蓄電池は万全な機能を発揮させる為にも4～5年毎に交換が必要です。蓄電池が切れると危険防止装置が正常に動作せず、大変危険です、手動閉鎖装置の電池試験ボタンを押して右図ランプが点滅した場合には、速やかに販売店または最寄の弊社営業所までご連絡ください。（交換は有償です。）



2-1. 操作方法 — 防災信号・非常ボタンによる閉鎖の場合



注意: 防災信号及び非常ボタンで降下した場合、押しボタンスイッチでの操作はできません。

全閉するまでの途中で手動閉鎖装置内の『復旧』ボタンを押した場合、シャッターは座板スイッチにて停止できなくなります。大変危険ですから全閉停止するまでは絶対に復旧作業は行なわないで下さい。

1. 防災信号による閉鎖の場合

1. 防災信号を受けると、自動閉鎖装置(ブレーキ解放装置)が作動し、ブレーキが解放されシャッターが降下します
2. シャッター降下中に座板スイッチが人などの障害物を検知すると、ブレーキが復帰し、シャッターが一旦停止します。
3. 障害物がなくなると、タイマーにより約10秒後ブレーキが解放されてシャッターが再降下を始め、シャッターを閉鎖します。
4. 全閉停止するまでに再度障害物を検知した場合は2と3の動作をくり返します。

2. 非常ボタンによる閉鎖の場合

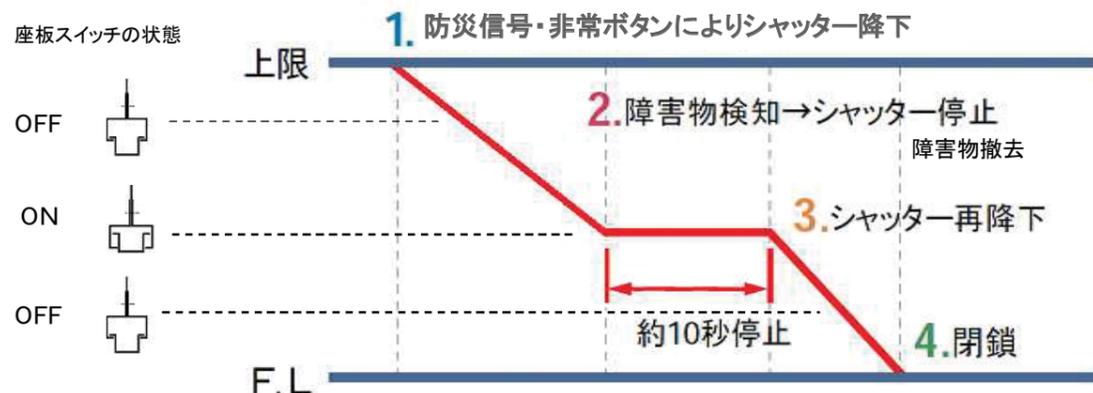
1. 手動閉鎖装置の『非常』ボタンを押すと、自動閉鎖装置(ブレーキ解放装置)が作動し、ブレーキが解放されシャッターが降下します
2. シャッター降下中に座板スイッチが人などの障害物を検知すると、ブレーキが復帰し、シャッターが一旦停止します。
3. 障害物がなくなると、タイマーにより約10秒後ブレーキが解放されてシャッターが再降下を始め、シャッターを閉鎖します。
4. 全閉停止するまでに再度障害物を検知した場合は2と3の動作をくり返します。

※1. 全閉停止後は、押釦スイッチ内の『復旧』ボタンを5秒以上押して復旧してください。復旧作業をおこなわずにシャッターを上昇させた場合、上昇途中でシャッターが下降し大変危険ですから、必ず復旧作業をおこなってください。

※2. 全閉するまでの途中で手動閉鎖装置内の『復旧』ボタンを押した場合、シャッターは座板スイッチにて停止できなくなります。大変危険ですから全閉停止するまでは絶対に復旧作業は行なわないで下さい。

※3. 故障の原因となりますので、防災信号又は非常ボタンによる降下中には、押しボタンスイッチによる操作は一切おこなわないでください。

シャッター動作中の動き



2-2. 操作方法 — 押しボタンによる操作の場合



注意: 操作する際、必ず次のことを守って下さい。

シャッターの下に人がいないか必ず確認して下さい。

周囲の状況に注意して、安全を直接目で見て確認して下さい。

シャッターのまわりに物が立てかけられていたり、置いていないことを確認して下さい。お子様には操作させないで下さい。

シャッターが停止するまで目を離さず、その場を離れないで下さい。

防災信号又は非常ボタンによる降下後にこの操作をする場合は、必ず復旧をおこなってから動作させてください。

3. 押しボタンスイッチによる動作(電動シャッターのみ)

・開ボタン

シャッターを上げたい時に押して下さい。シャッターは上限まで上昇します。

※シャッターが下降中の場合には、無効となります。一度停止ボタンを押して、開ボタンを押して下さい。

・停止ボタン

シャッターを停止させたい時に押して下さい。シャッターは停止します。

※防災信号又は手動閉鎖装置による降下については停止しません。

・閉ボタン

1. シャッターを下げたい時に押して下さい。シャッターは下限まで下降します。

※シャッターが上昇中の場合は、無効となります。一度停止ボタンを押して、閉ボタンを押して下さい。

2. シャッター降下中に人などの障害物を感知すると、反転上昇し停止します。

3. 障害物が取り除かれた後、再度押釦スイッチの「閉」を押すことによりシャッターが降下し下限にて停止します。

4. 全閉停止するまでに再度、障害物に座板が接触すると2～3までの一連の動作を繰り返します。

シャッター動作中の動き(下降)

